

# 文武両道の継承と発展

## —地域に見守られ支えられるP T A活動—

### プロフィール

#### 地域

河津町は伊豆半島東南部の、「伊豆の踊子」と「河津桜」ゆかりの温泉郷である。町内には温泉・滝・海岸などの観光地をもち、昔から花菖蒲やカーネーション、バラなどの花卉栽培が盛んな花の町である。

#### 学校

本校は、昭和56年の統合により新校舎が現在地に設立されて以来、町内唯一の中学校となり、本年度開校29年になる。生徒数176名、学級数 普通学級6 特別支援学級2 職員数は町職を含め23名である。

#### PTA

町内唯一の中学校を積極的に支援しようとする地域の風土を大切に、P T A会員の連携と家庭の教育力の向上、学校の教育の支援、会員の学校行事への参画を推進するP T A活動を行っている。

### 1 活動のねらい

地域ぐるみの学校支援の風土をいかしたP T A活動をめざす

河津中P T Aは、子どもたちが学校や地域での様々な関わりや、友と協力し助け合い励まし合い切磋琢磨しながらそれぞれの目標を目指して頑張る中で、友や地域の人たちとのあいさつや好ましい人間関係や基本的な生活習慣が身につくことを願って、「文武両道」の校風の継承と発展を念頭に、地域に見守られ支えられる地道なP T A活動に取り組む。

### 2 学校を取り巻く環境

町内唯一の中学校を見守り支持してくれる人たち

本校は早咲きの「河津桜」の発祥の地、伊豆の河津町唯一の中学校である。

河津町では、昔から、町民体育大会や町民文化祭が盛大に行われており、その町民の体育・文化の拠点の一つが本校のグラウンドや体育館・武道場である。本町は、三十七回を数える河津下田間駅伝競走大会の地元であり駅伝や陸上競技の愛好者も多い。また、平成元年には学校に武道場（柔剣道場）が落成し、平成二年から三年間文部省の「武道指導推進校」指定を受け、発表会を開き、翌年には体育優良校として表彰を受け、「文武両道」の校風が定着している。



町民体育大会声援

河津町には、まだ総合グラウンドも町民体育館、町民文化会館もないが、多くの町民が本校や町内三小学校の学校施設等を活用し、体育・文化活動に積極的に取り組んでいる。

本町では、町をあげ文武両道において本校を支援し盛り立てようという雰囲気があり、ミニバスを始め、少年野球やサッカーなどの各種の運動競技で子どもたちを指導したり、応援し、

子どもたちの健全育成に取り組んでくださる方々が多く。そして、多くの町民が、子どもたちの活躍を我が事のように喜び、あいさつの声をかけたり、子どもたちの健全育成に取り組んでくださる。こうした町民の意識を受け、議会も役場も町内各区

もそして本校を卒業し地域の中核となった人たちも、常に本校の活動を気にかけて、前向きに協力をしてくれる。学校の主な行事は、地元のNKC伊豆太陽農協河津有線テレビ放送で紹介されたり、特集番組として、繰り返し放送される。このようにして、地域の人たちが、常に自分の仕事だけでなく学校のことにも目を向けてくれていることも、子どもたちのやる気や基本的な生活習慣を身につけることに繋がっている。

### 3 取組の様子

地域の期待に応えようと頑張る学校・生徒会・PTA

こうした学校支援の風土の中で、本校生徒は、総合的な活動の時間にふるさと河津について学ぶ。そして、「ふるさと河津」を愛し誇らしく思い、来町する観光客の皆様にも河津のよさを知って欲しいと願う気持と、地域をより良くするために地域に貢献しようという気持から河津川のクリーン作戦や鮎の天敵の石巻貝の駆除活動を行ったり、助け合い運動などのボランティア活動を行っている。また、地域の祭典や防災訓練などに積極的に参加しており、桜祭り前の町内美化活動などに取り組むことも伝統となっている。そして生徒会自らあいさつ運動を行ったり服装改善の取組をしており、本校の生徒は素材ではあるが、心温かいあいさつを観光客からも褒められることが多い。

一方、本校PTAが特別に通学路や連日校門周辺に立つて、あいさつ運動をするようなことはしていない。あいさつは、それぞれの地域で地域の人たちと関わりや部活動な



剣道大会稽古風景

どを始めとした日常生活の中で徐々に身につけていくものであって、大きな都市と違い地域の人々の結びつきが強い。当町では、地域の中で子どもたちが育っていく。したがって、本校PTAで単独にあいさつ運動に取り組むことよりも、学校を支援してくれる地域の方々との関わりの中であいさつなどの基本的な生活習慣が身につくことを願い、本



校内合唱コンクール

校の伝統的な取組を継承し発展させる地道な活動を行っている。  
本校PTAの特徴的な活動は奉仕委員会が担当する「町内廃品回収（資源回収）」である。町内唯一の中学校である本校の活動は町内全域に及ぶが、中には生徒のいない地区もある。その様な地区でも、区長さんや本校PTAのO

Bや小学生のPTAなどが協力してくれ、あいさつが交わされる。

家庭教育学級の活動の中で地域との連携が強いのが校内合唱コンクールであり、この校内合唱コンクールには現役だけでなくOBや地域の方も加わり、生徒有志も加わって七十人近い人が夜の練習に参加したり、地域の文化祭に参加したりしている。こうした活動から、その他の地域の活動にも親子共々で参加して、あいさつの輪が少しずつ広がる。

また、町P連では、子どもたちの基本的な生活習慣の確立と健康を考え、町からの補助金を受け、毎年、食育やインターネットや携帯電話などの教育講演会を開いている。

## 4 活動の成果と今後の課題

### 文武両道の活動の成果の継承と発展

これまで述べてきたように、本校は町内唯一の中学校として地域の人たちから常に注目されており、その期待に応えるべく、学校・家庭・地域が連携して文武両道の伝統の継承と発展を意識しながらPTAの各行事に地道に一つ一つ取り組んでいる。従って生活習慣作りのための本校PTA独自の活動などはあまりないが、「あいさつ運動」をはじめ「読み聞かせ」や「早寝早起き朝ご飯」などの活動には地域の各団体と連携して取り組んでおり、PTAにも子どもたちの基本的な生活習慣の確立が大切であると考え、雰囲気や育ってきている。

そして、こうした地域ぐるみの学校支援の風土を受け、

先生方も本校の伝統の継承と発展を目指して、「わかる喜び」「できる喜び」のある授業を目指し、基礎基本の定着と他と関わり合い認め合い切磋琢磨し合う授業を目指して、一生懸命指導してくださっており、授業だけでなく、部活動等にも熱心に取り組んでくださっている。生徒は校長先生を先頭に文武両道で熱心に取り組む先生方の指導のもと、不登校ゼロで、明るく落ち着いた雰囲気の中で、朝早くから下校まで文武両道でよく頑張っている。

PTAとしても、今後とも地域に根付いている文武両道の校風を大切にし、学校・家庭が協力し合って、基本的な生活習慣の確立と、更なる伝統の継承と発展を目指したい。

## 展 望

本校は「武道指導推進校」指定や「体育優良校表彰」を受けるなど「文武両道」の校風が定着している。そうした学校を地域ぐるみで支援しようとする豊かな教育風土があるが、PTAもそうした校風の継承・発展のために地道な支援を続けている。奉仕委員会の町内全域に及ぶ「町内廃品回収」のほか、P連の活動として、毎年、食育・インターネット・携帯電話などについての教育懇談会開催にかかわってきている。今後は課題に応じて、さらに新たな取組を行うことが期待される。